

三条市小学校教育研究協議会国語部の活動

大島小学校長 五十嵐 章雄

1 研究主題

新学習指導要領の趣旨をふまえた子どもへの指導の工夫

2 研究主題設定の意図

新学習指導要領の趣旨を教師がより深く理解し、子どもたちに的確な指導をしていくことが必要である。そのため、研修、部員相互の意見交換などを通して教師の指導力アップを図る。

3 事業の実際

具体的には次のような研修を計画した。

① 教師側が理解を深めるための研修会（講義）を実施する。

② 新指導要領の趣旨に基づいた学習指導の実際と協議を実施する。

・ 4月 第1回国語部会

はじめに部長、副部長を選出し、今年度の計画を立案するため部員の意向調査をした。また、2回の三条市小教研一斉研修の内容について協議した。話し合いの前に研修とアイスブレイクを兼ねて詩の朗読会も実施した。

・ 6月 第1回三条市小教研 一斉研修

講演 「国語力を伸ばす教科書の活用」

講師 上越教育大学 学校教育学教授 石野 正彦 先生

平成23年度版光村図書を中心に、らせん的に学習を積み重ねる教科書編成であることをご指導いただいた。「伝統的言語文化と国語の特質に関する事項」については具体的に言語活動例を示していただいた。また、思考力という観点から、クリティカルシンキングについてご説明をいただき、情報活用能力と併せ、これからの国語科の流れについて示していただいた。参会者からは、たくさん内容から、自分の知識や概念を広げられる良い機会になったという声と、もう少し演習を取り入れてほしかったという要望があった。

・ 9月 第2回三条市小教研 一斉研修

示範授業、講義「本は友達」

講師 新潟大学教育学部 言語文化コミュニケーション講座 准教授 足立 幸子 先生

『かげ』ニコライ＝ストラコフを取り上げ、「第3次 キャッチコピーを作ろう」の部分を授業していただいた。対象は四日町小学校4年2組25名。授業では豊富な書籍を準備していただき、それだけでも子どもたちの目が輝いているのが分かった。短い時間だったが、全員の子どもがキャッチコピーを作ることができた。講義では学習指導要領「C読むこと」の目標である「幅広く読書しようとする態度を育てる」とは具体的にどうすることなのか、読書単元の作り方、本のジャンル表などを提示いただき、具体的な指導法についてご示唆いただいた。参会者からは、実践に生かせる研修だったと大好評だった。